

事業計画書

事業名	沼津茶の実を活用した練り香水の開発
実施場所	沼津市 原・浮島地区
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載して下さい。 令和5年8月1日 ～ 令和6年3月31日

◎事業概要

※事業の概要を100～200字で簡潔に記載して下さい（事業の紹介などで使用します）。

これまで廃棄されてきた沼津茶の「茶の実」を有効活用するため、リップクリーム型の練り香水とお茶石鹸を開発する。「プレゼントとしてもらって嬉しいもの」をコンセプトに、高品質な製品を作り、観光客の集まる沼津港、市内の旅館などのエリアでお土産として販売を行い、沼津市内外へ「沼津茶」をアピールし、沼津茶のブランド力向上を目指したい。

◎目的

※何を目的として実施する事業であるか（事業を行うきっかけ（地域の問題点や課題、社会背景など）や、課題解決のためにどんなことが必要と考えるか）を記載して下さい。

沼津市の根方地区は、市内でも特に緑茶の生産が盛んな地域である。茶の生産の過程で、副産物として大量の茶の実が収穫されるが、出荷・商品化されることがなく、ほとんどが廃棄されてきた。

そこで、平成27年に、沼津市商工会の製茶業者を中心としたお茶資源活用部会にて、茶の実からとれる油を使用した練り香水「富士実香（ふじみこう）」の開発を行い、試験的に販売を行った。当時販売したお客様からは、「軟膏のようなパッケージのため、使用時に手が汚れる」といった改善点をいただいた。

富士実香はまだ本格的な流通・販売には至っていないことから、本事業にて商品の改良を行い、事業化のきっかけとしたい。今回は、リップクリーム型の容器の練り香水（戸田たちばなの香り）と、新商品としてお茶石鹸の開発も行いたい。

「プレゼントとしてもらって嬉しいもの」をコンセプトとし、高品質な製品を開発し、沼津茶のイメージアップにつなげる。

本事業により、廃棄されている茶の実の資源を有効活用し、新たな特産品として地元で根付かせていきたい。将来的には、観光客の集まる沼津港、市内の旅館などでお土産として販売を行い、沼津市内外へ「沼津茶」をアピールし、沼津茶のブランド力向上を目指したい。

なお、本事業は沼津市商工会のお茶資源活用部会を前身とする任意団体「富士実香グループ」が実施主体となる。

◎実施内容

日 程	実施項目・作業項目
8 月	※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会)、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載して下さい。 富士実香グループ会合 開発する製品の具体的な仕様や販売単価を決定する
8 月	試作品の発注を行う
10 月	富士実香グループ会合 第1号試作品について、使用感などをテストする。 以降、必要に応じて試作とテストを繰り返し、11月中旬を目途に完成させる
11月中旬～	製品の生産を行う
1 月	できあがった製品につき、富士実香グループ構成員の店舗で販売を開始する。また、沼津港エリアの店舗や、市内の旅館等への営業活動を行い、取扱店舗を増やす。
3 月	販売状況やアンケートの結果を確認。更なる改善点を洗い出す。

◎事業効果

※事業の実施により、期待される効果を記載して下さい。

今回は、3.4 kgの茶の実油を製品の開発に使用する。リップクリーム型の練り香水は150本、お茶石鹸は40個が製造できる見込みである。

製造した商品は「富士実香グループ」構成員の店舗で販売するほか、沼津港エリアの店舗、市内の旅館、地元の物品を扱う雑貨屋、道の駅など、観光客の多く集まる場所で販売し、沼津市内外の方へアピールを行う。また、広報活動としてはパンフレットの制作やSNSによるPRを行っていく。

販売単価については、練り香水は1,500円、お茶石鹸は3,000円とする見込みである。売上としては、練り香水は225,000円、お茶石鹸は80,000円を目標とする。

成果指標	※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定して下さい。 売上：305,000円 顧客からの評価：アンケート収集20件を目標とする。	指標の 検証方法	※左記指標の検証方法を記載して下さい。 売上：各加盟店の販売数を集計 顧客からの評価：製品にアンケートを同封し、使用感や改善点の意見を集める
------	--	-------------	--

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

公益性 ・ 必要性	※公益性：地域のまちづくりの推進に如何に寄与できるのか、不特定多数の市民の利益にどうつながるのか等について記載して下さい。 ※必要性：事業を実施する意義や、本ファンドによる助成が有益で質の高い事業展開につながる理由を記載して下さい。 沼津の特産品のひとつであるお茶につき、茶の実を利用したお土産という切り口から市内外の多くの方に認知していただくことができる。飲むお茶だけではないお茶の活用方法を提案につなげたい。沼津茶のブランド力向上と、地域活性化につなげていきたい。
-----------------	--

地域性	<p>※地域の実状と課題をどう捉え、事業を行うことによってどのように課題を解決するのか、また、地域の特性や地域資源をどのように活かしたか、などについて記載して下さい。</p> <p>沼津茶に限らず、製茶の取引量は年々減少の傾向である。市内のお茶農家も減少の一途をたどっており、地域産業を守るための一手が必要な状況である。茶の実の油には、美白効果・シミ予防・老化防止の効果があるビタミンEが多く含まれているほか、保湿機能にも優れている。平成27年に試作した「富士実香」は茶の実の油を主成分とし、香りは愛鷹緑茶、戸田のたちばな、原の桜の3種を用意した。今回製作するリップクリーム型練り香水は、戸田のたちばなの香り、お茶石鹸は茶葉の香りの製品とする計画である。</p>
先導性	<p>※事業の新規性や独自性など、新たにチャレンジする点、工夫した点などについて記載して下さい。</p> <p>これまでの試作品では、軟膏のように指で掬って肌に塗るタイプであった。塗るときに手が汚れることが課題であったため、今回のリニューアルでは、リップクリームのような形状にし、手を汚さずに塗布できる製品としたい。</p> <p>また、新商品として茶の実油を原料とするお茶石鹸を製作する。</p>
発展性 ・ 継続性	<p>※発展性：活動の広がりや波及効果がどのくらい見込め、地域の発展・活性化につながるのか記載して下さい。</p> <p>※継続性：本ファンドによる助成終了後も継続的・自立的な活動とするために、事業実施体制や活動資金の確保などについてどのように取り組んでいくのかについて記載して下さい。</p> <p>リニューアルした製品は「富士実香グループ」構成員の店舗で販売する。そのほか、沼津港エリアの店舗、市内の旅館、地元の物品を扱う雑貨屋、道の駅など、観光客の多く集まる場所へ営業活動を行い、取扱店を増やしていく。観光地等の販路については、沼津市商工会より情報・助力を得る。販路の拡大により沼津市内外の方へアピールしていきたい。広報活動としてはパンフレットの制作やSNSによるPRを行っていく。</p> <p>また、良質な製品を高価格で販売する方針とし、将来的な事業化を目指す。</p>
実現性 ・ 妥当性	<p>※実現性：事業目的と事業内容は合致しているか、実現のために事業内容、予算の積算、自己資金の準備、スケジュール等について工夫した点を記載して下さい。</p> <p>※妥当性：各種法令順守、関係者との調整状況、費用に対する事業効果の妥当性について記載して下さい。</p> <p>茶の実の搾油は昨年うちに完了している（搾油の技術指導をいただいている山口県の業者へ依頼）。製品試作およびパッケージデザインは、天然石鹸を製造する事業者である「Urara」（富士実香グループの構成員であり、沼津市商工会の会員である）へ依頼する。開発にかかる自己資金は、「富士実香グループ」の構成員より負担金を徴収することで賄う。</p>
活動に対する熱意	<p>※活動の動機、活動に対する意欲・熱意について記載して下さい。</p> <p>茶は取引量が年々減少し、採算の悪化や高齢化により、茶農家は減少が続いている。茶を活用した新たな特産品を開発し浸透させることで、収益性を高めていきたい。農業を志す方にとって、茶の栽培に魅力を感じてもらい、新規就農者を増やすことを目指したい。</p>

◎次年度以降の活動予定

<p>※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載して下さい（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。</p> <p>「富士実香」の取扱店を拡大するための営業活動を継続するほか、ふるさと納税の返礼品に組み込むことで、沼津市内外への認知度向上を目指す。また、沼津市商工会で推進する一店逸品運動への商品登録を行い、商工会を通じて「地域の自慢の逸品」として沼津内外への情報発信を行う。</p>
--

◎実績の評価と改善点（継続事業のみ）

※継続事業については、過去の実績に対する自己評価と実績を踏まえた改善点等について記載して下さい。

◎特に高い公益性を有することの説明（ハード部門のみ）

※補助金申請額が「特に公益性が高い事業」に該当する場合は、その理由を記載して下さい。